

## 新型コロナウイルスについて

鹿児島県立大島病院

2019年12月以降、中国の湖北省武漢市から世界各地に広がるコロナウイルス感染症。さまざまな情報が飛び交う中、正しく知り、正しく対処することが、わたしたちに求められています。今回、県立大島病院より新型コロナウイルスに関する情報をお届けいたします。

まず、新型コロナウイルスに感染した場合、症状が出てくるまで約5日かかるとされています。ほとんどの方は発熱、倦怠感、咳といった、風邪症状のみで自然に良くなりますし、感染しても全く症状が出ない方もいます。

万が一、37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合や、強いだるさや息苦しさがある場合は、名瀬保健所に設置されている「帰国者・接触者相談センター」(☎52-5411)にご連絡ください。ご高齢の方や、糖尿病や心不全などの持病がある方は、重症化する危険性があるため、2日以上症状が続く場合にはご相談するようにしてください。

次に、医療機関の受診のタイミングですが、名瀬保健所へ連絡して受診を勧められた場合や、強いだるさや息苦しさを生じた場合となります。新型コロナウイルス感染症の検査はコロナウイルスを強く疑うような症状の方や、感染者との濃厚接触された方に行う検査だと考えているからです。

検査の希望者が病院に殺到してしまうと、ほかの病気で受診された方の診療が遅れてしまったり、病院内で新型コロナウイルスの感染を広げるキッカケになる恐れがあります。新型コロナウイルスの検査も、インフルエンザの検査と同じで、検査のタイミングが早いと誤って陰性になる可能性があります。結果に安心して、発熱や咳があるのに仕事に出ってしまったら、人混みの中に入ってしまったらすると、かえって感染を周りに広げてしまう恐れもあります。まずはご相談ください。

現在、新型コロナウイルス対策で、一番大切なことは予防です。中でも手洗いが一番効果的です。発熱や咳をしている方はマスクを着用するようにしてください。風邪のような症状など、体調が悪いときには無理せず、まずはゆっくり休みましょう。臨時休校中のお子様達も同じく、規則正しい生活と、手洗いが重要です。また休校中は本を読むなど時間をゆっくり過ごせる楽しみを持ちましょう。

病院を受診する場合には、いつから熱が出て咳が出ているかなど、症状が出てきた時期をメモしておきましょう。また、お薬手帳を持参してください。午前中の外来受付時間では、正面玄関入り口に看護師がいますので、看護師に症状をお伝えください。午後もしくは夜間・休日に発熱や咳といった症状で受診される場合には、お電話もしくは来院された際の受付で、発熱していることをお伝えください。患者さんが多い場合には車の中等で診察までお待ちいただく場合もございます。いずれも、コロナウイルス感染症を不用意に広げないための対策ですので、ご理解くださいますようお願いいたします。その他の医療機関に受診される場合も、発熱と咳がある場合には、名瀬保健所にご相談いただくか、受診予定の医療機関に事前にお電話いただくようお願いいたします。

なお、(注)現在、鹿児島県内では、奄美地区も含めて新型コロナウイルス感染の報告はありません。県内の新型コロナウイルスに関する情報は、「奄美市のホームページ」から確認できます。予防に関する説明なども紹介されていますので、ぜひ、奄美市のホームページをご確認ください。

奄美の皆様が健康に日常をお過ごしいただけるよう、県立大島病院では各方面と連携して引き続き取り組んでまいります。ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

(注)2020年3月9日現在(計1420文字)